

98年度 秋の学会 原子核三者若手総会議事録@秋田大学

1998/10/5

文責・新潟大 (三者事務局)
飯島 洋太 ijima@muse.hep.sc.niigata-u.ac.jp
薄倉 淳子 usukura@nt.sc.niigata-u.ac.jp

1 会計報告 (東北大学)

98年度 三者センター校から決算報告がなされて承認されました。

議案書の会計報告の訂正

- ・三者若手全体の現金収入で、夏の学校開校式の残金 18,010 円が加算され、合計は 2,524,472 円となった。
- ・役職校への予算割り振り額の表で、三者準備校と三者事務局 (98年度) の実際の支出が変更された。正しくは次の表のとおり。

役職校	今年度予算額	実際の支出	残額
三者準備校	400,043	289,854	110,189
三者事務局 (97年度)	88,147	88,147	0
三者事務局 (98年度)	30,000	14,954	15,046
三者センター校	10,000	8,172	1,828
三者名簿校	40,000	-5,966	45,966
素粒子パート	60,000	21,483	38,517
原子核パート	99,980	103,479	-3,499
高エネパート	33,850	27,850	6,000
合計	762,020	547,973	214,047

原子核パート準備校では、支出が予算より 12,299 円超過した。この超過分は追加予算として申請され、承認された。

今年度の夏の学校ではホテルから一日当たり 20 人分の宿泊費を協賛金として頂いた。これは、役職校で分配したが、12 泊分余り、この残金は三者センター校に回収された。

2 名簿校 (京都大)

以下のことが承認されました。

- 三者若手名簿の検索およびファイル取得に対しパスワード入力を求める。
- 基研以外のホームページでも三者若手名簿の無制限の公開を禁止する。

3 予算案(99年度センター校 北大)

予算案は下記の訂正がなされた後、役職校の補助に関する部分を除いて承認されました。

議案書の予算案の訂正

・各パートの予算案の表の前年度予算で、高エネルギーと素粒子の金額が逆になっている。

議案書では各パート予算案の備考で、原子核パート準備校の”Review Talker への謝金”の申請額は30,000(10,000 × 3)となっていたが、増額して54,000(18,000 × 3)円として申請し、承認された。

高エネルギーパート準備校は事前宿泊費として12,000円を申請したが、決定は保留された。(役職校宿泊費補助の節を参照)

三者準備校は補助として180,000円を申請したが、保留された。(役職校宿泊費補助の節を参照)

4 高エネルギーパート 準備校

(1) 役職校への宿泊費補助(2) 素粒子パートの現象論の講義 / 研究会への高エネルギーの参加について話し合われました。

(1) 決定は保留された。(役職校宿泊費補助の節を参照)

(2) 講義の共同開催については99年度夏の学校では見送られる。研究会の共同開催に関しては99年度夏の学校から行なう方向で素粒子・高エネの両準備校で話し合って進める。

5 役職校宿泊費補助

遠隔地補助を一部役職校補助にまわすことが提案されていましたが、下記のような経緯により、三者センター校からの補助についての決定は保留されました。(三者準備校への補助も保留)

(1) 素粒子論グループからの意見

素粒子論グループ(以下、素G)に夏の学校運営のための補助を申請しているため素Gからその用途について以下の意見が出されている。

・補助の使い道を明らかにする必要がある。

・若手全体の利益になるように使う。

・三者センター校から三者準備校へ毎年補助金が支給されてきているが、役職校はそもそもボランティアで仕事をしているので、そこへの補助にあてるのは疑問がある。

(2) 議案書では補助をどこから賄うかについて提案してあったが、上記の素Gの指摘より、役職校への補助を支給するかどうかという根本的な問題から考え直すことになった。

(3) 99年度予算では、役職校に対して三者センター校から宿泊費補助は支給しない。ただし、今後の総会でもし補助についての要求がある場合、参加費を財源として議論する。

6 来年度の夏の学校（三者準備校 東工大）

ここ数年、妙高高原のホテル（アルペンブリック）で夏の学校が開催されているが、ホテルからの条件が毎年厳しくなっているうえに、今年度の夏の学校では不祥事が相次いでいます。そのため、来年度はアルペンブリックでの開催は難しいだろうという懸念から、三者準備校は新たな開催地を検討しています。開催地についての決定は、三者準備校に任せることになりました。新しい宿泊施設として、下記のホテルが挙がっています。

ホテル パーズウッズ

長野県下高井郡木島平村

74室（バス・トイレ付、和、洋）・420人収容・大広間208畳（5分割可）・レストラン400人収容 etc

長所；1泊3食 4300円、食堂の他に200畳の部屋と体育館、風呂が広い

短所；交通の便が悪い（駅から路線バスがない）、黒板の数が少ない、OHP・スクリーンが無い

7 来年度計画

議案書にあるように改革していく方向で、これから話し合っていくことになりました。